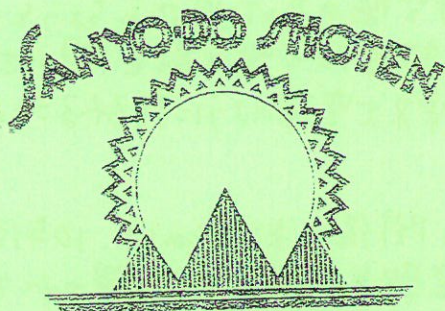


4月の本ベスト5

1. 大坊功の理の時間  
大坊勝次・キムオノ著
2. 正直 松浦弥太郎著
3. シワをツクリたい  
井川直子著
4. 買う5秒前  
草場滋著
5. 東京美女散策  
安西水丸著

山陽堂だより 70

2015年5月号



山陽堂書店

03-3401-1309

山の手空襲から70年

青山周辺の景色  
戦前・戦中・戦後 — 展示とトークイベント

5/12(火) ~ 6/5(金) 日祝休

月金 11時 ~ 19時

土 5/16・5/23  
5/30

11時 ~ 14時 (15時より70周年)  
11時 ~ 14時 (イベント開催時)

4月の雑誌ベスト5

1. 家庭画報 5月号  
麗きバラと暮らす
2. エルミヤ 5月号  
とれど! ふれど! 70
3. POPPE 5月号  
HAWAII GUIDE
4. 婦人画報 5月号  
東京
5. 文芸春秋 5月号  
患者の知らぬ医療の真実

<トークイベント> \*参加費1500円(前金決済不可)  
5/16(土) 15時から約1時間半 (開場14時30分)

第一回 5/16(土) 15時から 同土  
「矢田穂子人か歩いそ道」  
昭和4年、童謡歌手として芸能入り。コロムビア  
レコード(当時表参道沿い)に於いてレコード  
ラジカステーション活動し、後に女優として演劇・映画  
と活動範囲が広がる。戦後俳優座俳優養成  
所二期生卒業。主な出演は、テレビ大河ドラマ  
「赤穂浪士」、テレビドラマ「大羽かかぬ」「地獄から  
声援 命人28号」鶴島博士、程の松のセベットの主人 鞠蔵。

第二回 5/23(土) 15時から 同土  
「昔の青山の話・山の手空襲の話」渡辺みゆみ  
文化学園大学客員教授・ジャーナリスト  
東京都出身。昭和30年代後半に青山に暮らす。テレビ  
公鳥第一期生として1957年日本テレビ放送網に入社。  
1980年「三つ子15年の成長記録」で日本テレビ放送連盟  
賞テレビ社部門最優秀賞受賞。近著に朝日新聞出版  
「日本人でわかるから思ひ美智子さま38の心話」  
いまいき「美智子、美しい人」など。

\*参加費(総費をぬいた)は東京戦災資料センターに寄付  
させていただきます。

2014年  
山陽堂雑誌ベスト  
1位

「ふるさと」2号  
6月26日(金)  
発売決定  
予約受付中。

美容院のスタッフからは  
雑誌選びに苦勞され  
ている方が多いのが  
こちらはお若者、年齢を  
問いません。ぜひ  
お手に取って頂きたい!

70年前の5月25日、青山一帯は  
空襲で焼け野原となりました。  
その日の山陽堂はわりと火に囲ま  
れていました。運よく焼け残りです。  
今回キャリーで、戦前・戦中・戦後  
の青山周辺地図や写真と展示します。  
昭和初期今の半分位の幅から  
青山通り沿いには、人の暮らしと  
商店が並んでいました。18歳で嫁  
いで青山に暮らしていた92歳の女性  
「大正5年生の兄が青き山」とい  
う地図のヒーローを展示します。小  
スノースで昔の青山の音にふれ  
たいからぜひお願ひください。せ  
び様の青山の思い出をキャリー  
ブックに収録していただく。その  
思い出のふりかえり、青山の  
大正の記録となります。2015年  
の記録にぜひお持ち帰りください。

いっか山陽堂でお話ししていただきたいと願っていた

俳優 矢田稔さんとシナリオ<sup>ト</sup> 渡辺みどりさんのこと。

今年の5月25日は、山の空襲があった日からちょうど70年になります。私は幼い頃から、よく祖母に空襲の話と聞かせてもらっていました。山の空襲は、下町の東京大空襲のように語り継ぐことはあまりなかったように思います。

矢田稔さんと青山の関係を知ったのは、10年位前の東京新聞でした。戦前矢田さんは童謡歌手・子役として活躍されており、表参道いこいこホールに出演していらしたそうです。「日本の喜寿王」といわれ大人気だった榎本健一とエノケンさんとの思い出もありです。

はじめにお目にかかったのは、戦後60年の青山善光子さんの法要でした。矢田さんは東京新聞社会部編集の「あの戦争と伝えたい」(岩波現代文庫)から、白母清水浜子の記事「炎の表参道・書店の奇跡」と朗読してくれました。それからというもの、毎年法要のあとに朗読をしていただきます。

いっか山陽堂で、子どもの目を通して感じた戦前の青山の様子などの話や朗読としていただきたいと思っております。

渡辺みどりさんは、山陽堂の子供たちに通った青南小学校の同窓生でもあり、私の叔母たちは子どもの頃からお付き合いをさせていたといえます。その渡辺みどりさんが戦後50年の1995年、婦人公論で「山の空襲、表参道は遺体に埋まり」という記事と掲載されました。

その中に、空襲下の山陽堂書店内の様子が描かれていました。ご自身も、秋田に疎開されていましたが、渡辺みどりさんのお母様と従兄の方から山陽堂に避難されたからと、当時の店内の様子を知る貴重な記事でした。

5、6年前から、ぜひこの場所で青山として空襲の話をしていただきたく願っておりまして。

戦後70年の今年、長年思っていた願いが叶い、5月16日矢田稔さん、5月23日に渡辺みどりさんにご協力いただきトークイベント開催となりました。皆様のお申し込みと心お預かりしております。

青山地  
5月25日  
戦没者追悼会  
主青山善光子本堂にて行われます。

